

一般会計決算

一般会計とは、皆さんからの税金などを財源として、市の基本的な行政運営を行う会計です。

歳入総額は、前年度と比べて8億8517万円(3.7%)の減となりました。

- ◆定額給付金や経済対策事業の減による国庫支出金の減
 - ◆市民病院の民間移譲に伴う病院事業清算に係る経費への繰入金の減
- などが減額の主な要因です。

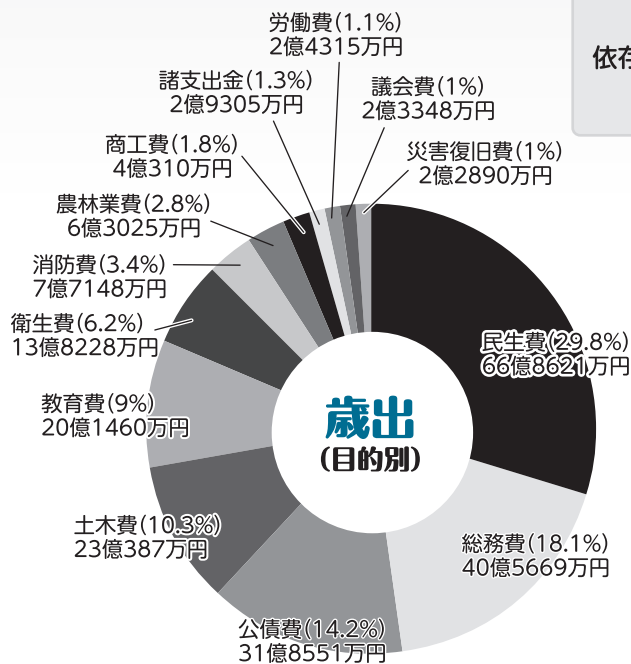
歳出総額は、前年度から8億171万円(3.5%)の減となりました。

- ◆定額給付金や退職手当等の減による総務費の減
 - ◆病院事業会計の清算に伴う経費の皆減による衛生費の減
 - ◆災害箇所の減による災害復旧費の減
- などが減額の主な要因です。

自主財源…市が独自に徴収することができるお金。
依存財源…国や県などから入ってくるお金。

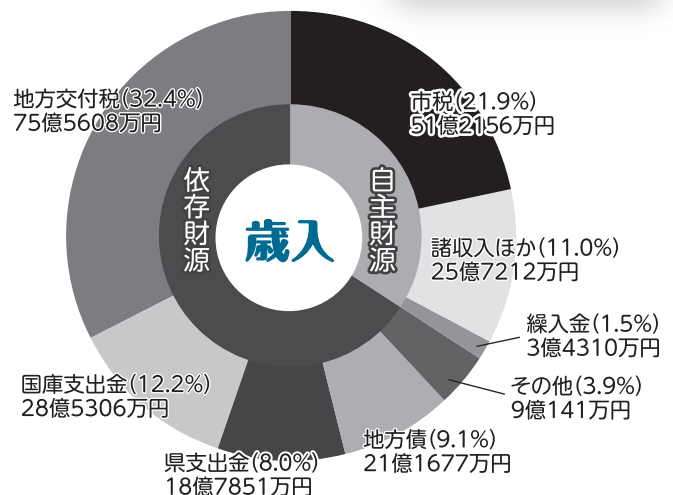
平成22年度の武雄市の決算についてお知らせします。
決算は議会で審査が行われ12月議会で認定されます。

平成22年度決算報告



歳出総額

224億3257万円



歳入総額

233億4261万円

◎最大の歳出は民生費

歳出を目的別に見ると福祉関係の費用である民生費が全体の4分の1以上(29.8%)を占め、最大です。子ども手当の創設などにより大幅に増加し、今後も増加していく見込みです。

2位は総務費(18.1%)、3位は公債費(14.2%)となっており、上位3位までで全体の半分以上(62.1%)を占めています。

◎自主財源が減少

市が独自に確保できる自主財源は、前年度と比べて17億942万円(17.5%)減少しています。これは、市民病院の民間移譲に伴う病院事業清算に係る経費への繰入金の減が主な要因です。また、主たる自主財源となる皆さんや企業からの税金(市税)は、景気後退などの影響により1億5148万円(2.9%)の減となりました。